

- ・第10期（平成24年3月期）業績
- ・中期経営計画（平成27年3月期まで）

## タカラバイオの基本戦略


**バイオテクノロジーの研究開発の  
トップランナーを続けながら  
収益事業の領域を拡大**

**遺伝子医療** 将来の成長事業  
TCR MazF  
HSV-TK HF10  
ウイルスベクター 細胞再プログラミング

**ファーマコ・バイオ分野**  
PCR ゲノム解析  
制限酵素 理化学機器

**遺伝子工学技術** 安定収益事業  
細胞生物学技術

**医食品バイオ** 第2の収益事業化  
PNASIMESHI HONSHIMESHI  
HATAKESHIMESHI

第10回定時株主総会 平成24年6月22日・2 

## 連結業績

(単位：百万円)

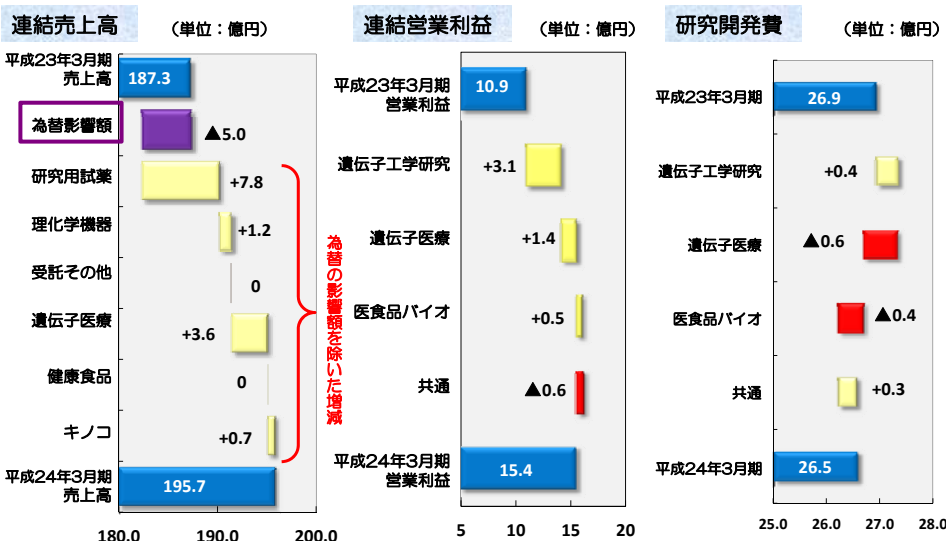
	平成24年3期	前期比	
		増減	増減率
売上高	19,578	+840	+4.5%
売上原価	9,194	+335	+3.8%
売上総利益	10,383	+505	+5.1%
販売費及び一般管理費	8,836	+55	+0.6%
営業利益	1,547	+449	+41.0%
経常利益	1,829	+553	+43.4%
当期純利益	1,023	+417	+68.9%

第10回定時株主総会

平成24年6月22日・3

TaKaRa

## 売上高・営業利益・研究開発費（連結） ＜前期比増減＞

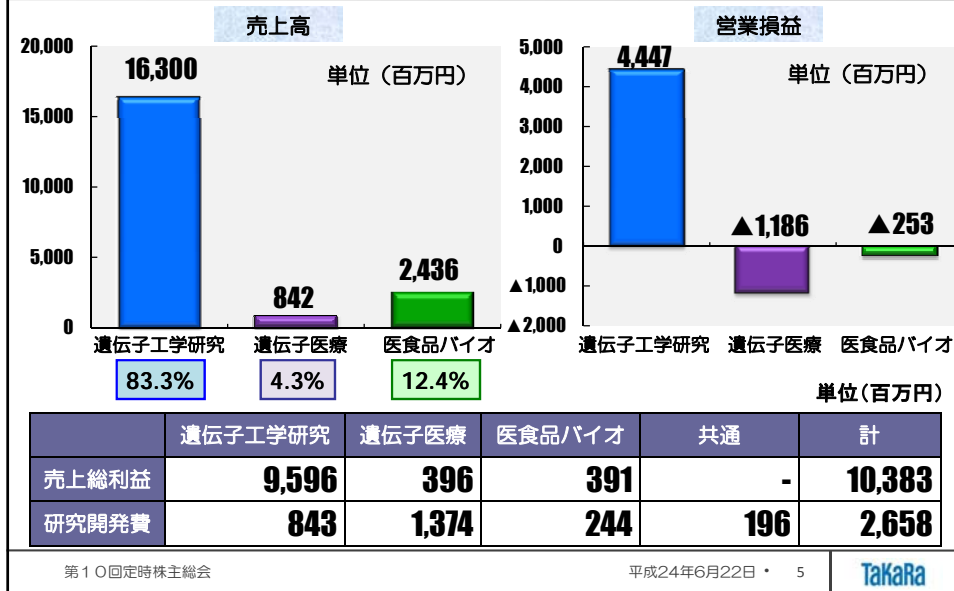


第10回定時株主総会

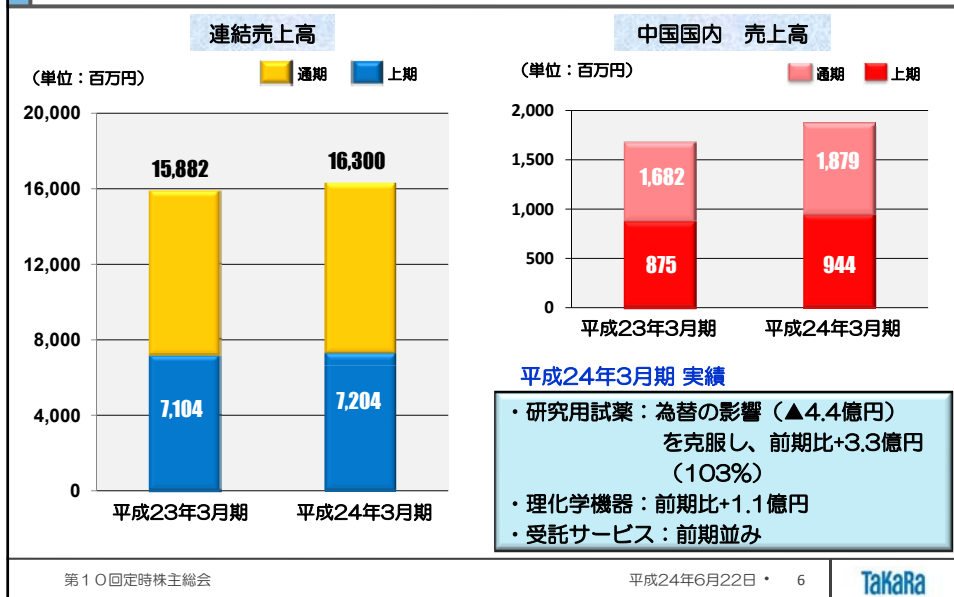
平成24年6月22日・4

TaKaRa

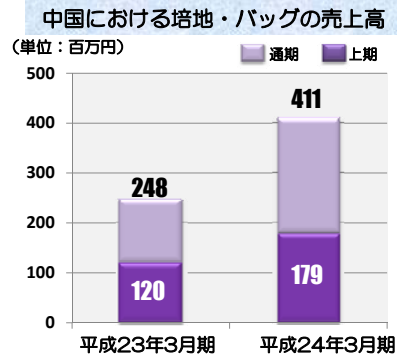
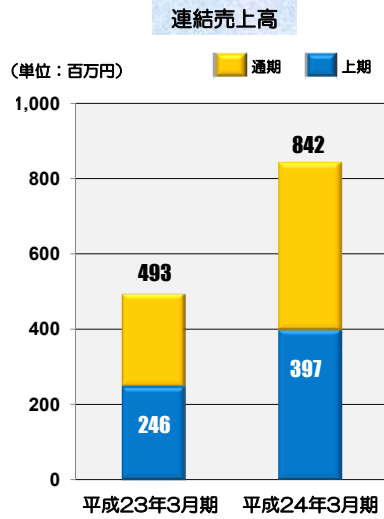
## 平成24年3月期セグメント情報（連結）



## セグメント別売上高（連結） 遺伝子工学研究事業



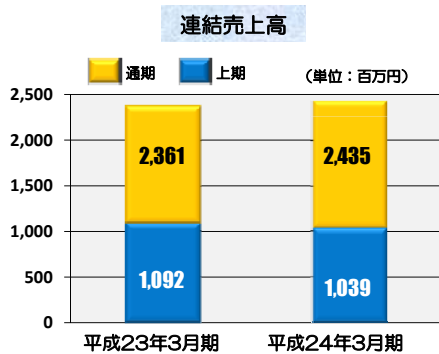
## セグメント別売上高（連結） 遺伝子医療事業



### 平成24年3月期 実績

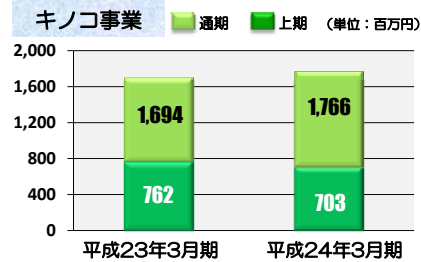
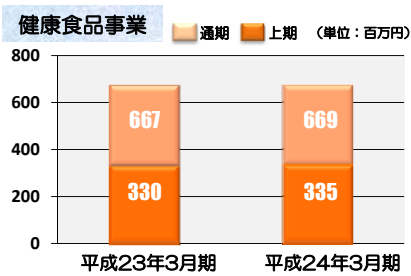
- ・中国での細胞医療用培地・バッグの売上増加  
(前期比+1.6億円)
- ・がん免疫細胞療法の技術支援サービスの売上増加  
(前期比+1.4億円)

## セグメント別売上高（連結） 医食品バイオ事業



### 平成24年3月期 実績

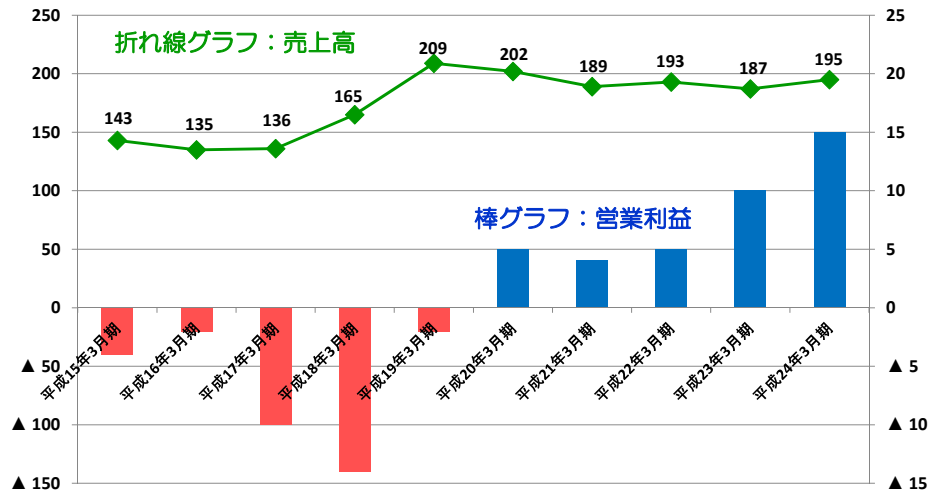
- ・残留農薬検査事業の終了による影響  
▲0.8億円
- ・フコイダン関連製品の売上増加
- ・キノコ事業：前期比+0.7億円  
(ハタケシメジ・ホンシメジの売上増加)



## 売上高・営業利益（連結）の推移

売上高（単位：億円）

営業利益（単位：億円）



第10回定時株主総会

平成24年6月22日 ・ 9

TaKaRa

## 中期経営計画

平成27年3月期までの業績目標  
各事業における施策

第10回定時株主総会

平成24年6月22日 ・ 10

TaKaRa

## タカラバイオグループ連結業績目標

(単位：百万円)

	平成25年3月期予算	平成26年3月期計画	平成27年3月期計画
売上高	21,100	22,700	23,600
営業利益	1,600	1,700	1,800
経常利益	1,850	1,900	2,000
当期純利益	1,100	1,200	1,300
研究開発費	3,083	3,533	4,085

### セグメント別営業利益

	平成25年3月期予算	平成26年3月期計画	平成27年3月期計画
遺伝子工学研究	4,694	4,947	5,283
遺伝子医療	▲1,332	▲1,515	▲1,793
医食品バイオ	0	65	112
共通	▲1,762	▲1,796	▲1,801

第10回定時株主総会

平成24年6月22日・11

TaKaRa

## セグメント別 売上目標

(単位：百万円)

	平成25年3月期 予算	平成26年3月期 計画	平成27年3月期 計画
研究用試薬	12,630	13,485	14,059
理化学機器	2,537	2,548	2,551
受託	2,050	2,150	2,250
その他の	303	283	249
遺伝子工学研究	17,522	18,467	19,110
遺伝子医療	1,016	1,597	1,797
健康食品	667	687	707
キノコ	1,893	1,963	1,984
医食品バイオ	2,561	2,651	2,691
売上高 合計	21,100	22,700	23,600

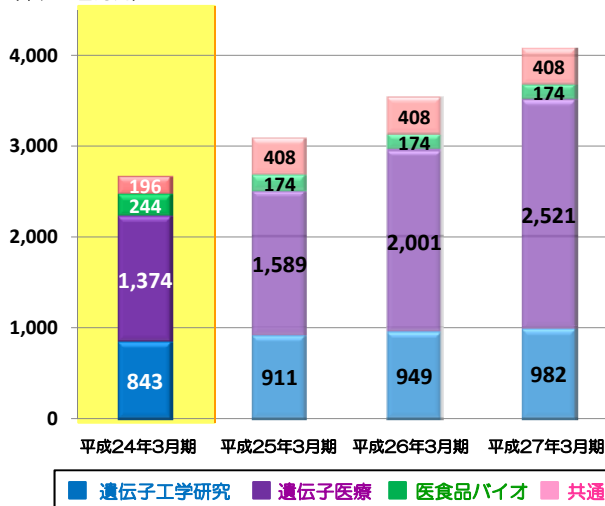
第10回定時株主総会

平成24年6月22日・12

TaKaRa

## 研究開発費（連結）

（単位：百万円）



グループ研究開発体制の強化

日本：タカラバイオ  
 米国：クロンテック  
 中国：宝生物工程（大連）

タカラバイオ株式会社  
 バイオ研究所の再編

- ・トップサポート部門（共通部門）
- ・中長期の事業の柱となり得る新規事業・研究開発テーマの創造・推進を担当
- ・ファーマコ・バイオテクノロジー分野
- ・アグロ・メディカル分野

第10回定時株主総会

平成24年6月22日・13

TaKaRa

## 遺伝子工学研究事業の施策（1）：事業拡大の方向性

### 1 遺伝子工学から細胞生物学へ

- 細胞生物学分野の新製品開発強化
- 技術的シナジーのある企業等との提携推進

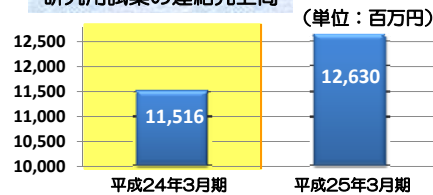
### 2 研究支援から産業支援へ

- Applied Field分野におけるカスタム（オーダーメイド）製品の開発強化
  - ・食品製造品質管理用の微生物検出試薬
  - ・衛生検査所向けの検査試薬
- 中国、インド、韓国でのApplied Field分野の強化

### 3 基礎研究支援から先端研究支援へ

- 高速シーケンス関連試薬の開発

### 研究用試薬の連結売上高



平成25年3月期の研究用試薬の連結売上高 前期比+11億円の内訳

- ・日本：+9.8億円
- ・インド：+1.7億円
- ・中国：+1.3億円
- ・米国・欧州：為替の影響で前期比▲1.8億円

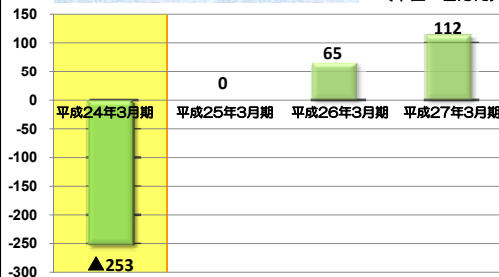
第10回定時株主総会

平成24年6月22日・14

TaKaRa

## 医食品バイオ事業の施策（１）：健康食品事業

医食品バイオ事業の営業利益 (単位：百万円)



1 平成25年3月期の営業黒字化

2 機能性食品素材のエビデンス強化  
(アグロ・メディカルのアプローチ)

3 B to B市場での売上拡大

- ・ガゴメ昆布フコイダン：免疫活性化作用、インフルエンザ予防作用・育毛作用など
- ・アガロオリゴ糖：関節炎予防作用、美容作用（シワ予防など）
- ・明日葉カルコン：メタボリックシンドローム改善作用
- ・トゲドコロ/ヤムスゲニン：脂肪燃焼作用や運動能力の向上作用
- ・ボタンボウフウ：血流改善作用、排尿改善作用
- ・きのこテルペン：抗腫瘍作用



## 医食品バイオ事業の施策（２）：キノコ事業

4 新規キノコ大量栽培技術投入による生産量の増大

- ・ハタケシメジ・ホンシメジの歩留まり向上により、最大生産量の増大を計画

5 生鮮キノコのロジスティクス体制の強化と売上拡大

- ・瑞穂農林㈱敷地内に自社冷蔵倉庫を設置し、専用トラック便にて配送
- ・温度管理の徹底により品質の向上、単価アップを目指す

		平成24年3月期 実績	平成25年3月期 予算
ハタケシメジ (瑞穂農林)	売上高	766百万円	917百万円
	販売量	約1,480トン	約1,620トン
ホンシメジ (タカラバイオ)	売上高	301百万円	336百万円
	販売量	約146トン	約164トン
フナシメジ (きのこセンター金武)	売上高	137百万円	136百万円
	販売量	約260トン	約260トン





## 遺伝子医療事業の施策（1）

### 1 がん免疫細胞療法支援サービス事業

- 支援サービスの売上高：424百万円（前期比+96百万円）を計画

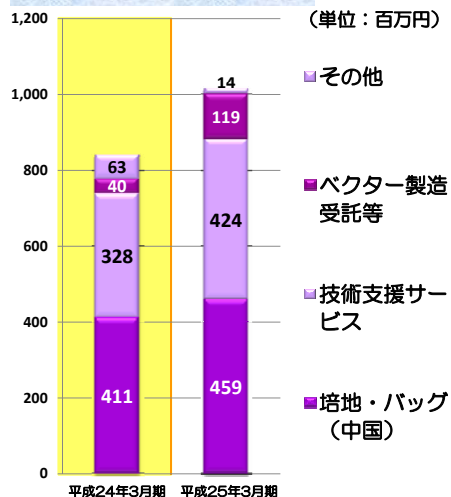
### 2 中国での培地・バッグの販売

- 中国でのがん免疫細胞療法の需要の増加：459百万円（前期比+37百万円）を計画

### 3 ファーマコ・バイオテクノロジー分野

- 当社の技術・ノウハウを利用したバイオ医薬品等の創業支援事業の強化
- 臨床研究用のベクター等の製造受託の拡大
- バイオ医薬品の安全性試験サービスの拡販（英国Vitrology社と提携）

遺伝子医療事業の連結売上高



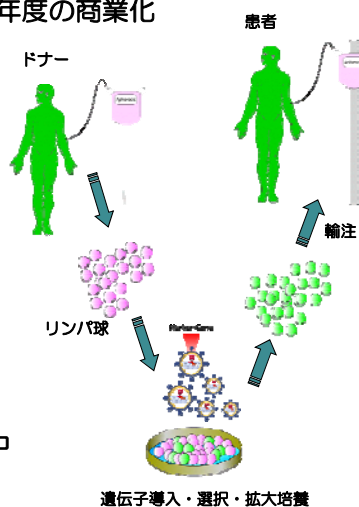
## 遺伝子医療事業の施策（2）HSV-TKプロジェクト その①

HSV-TK遺伝子治療 目標：平成29年度の商業化

- ①ドナーリンパ球輸注（DLI）療法（再発白血病）  
国立がん研究センターで第I相臨床試験を実施中
- 3例目（第1コホート）に遺伝子導入細胞を投与（平成24年4月）
  - 残りの予定症例数：5例

細胞投与数 （体重1kg当り）	第1コホート 1,000万	第2コホート 5,000万	第3コホート 1億
投与済症例数	2	1	0
残り予定症例数	0	2	3

- ②ハプロAdd-back（造血器悪性腫瘍）  
国立がん研究センターで臨床研究実施中
- 2例目の遺伝子導入細胞を投与



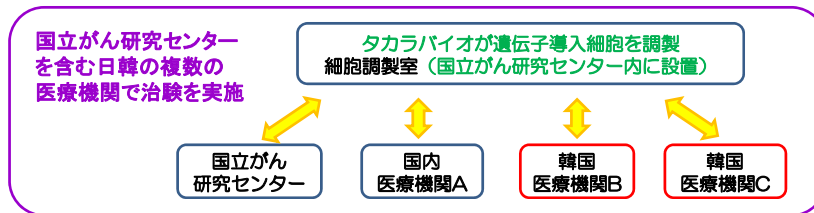
## 遺伝子医療事業の施策（3）HSV-TKプロジェクト その②

**日韓共同治験（ドナーリンパ球輸注（DLI）療法）** 目標：平成25年度に開始

背景：日本では臍帯血移植が広く行われているが、韓国ではミスマッチ移植（ハプロ移植）の治療が優先して行われており、HSV-TK遺伝子治療の対象患者数が多い

治験計画：多施設共同試験  
第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験（第Ⅰ相：安全性、第Ⅱ相：安全性及び有効性）

対象疾患：HLA不適合移植後の非寛解もしくは再発急性白血病（20-30例）

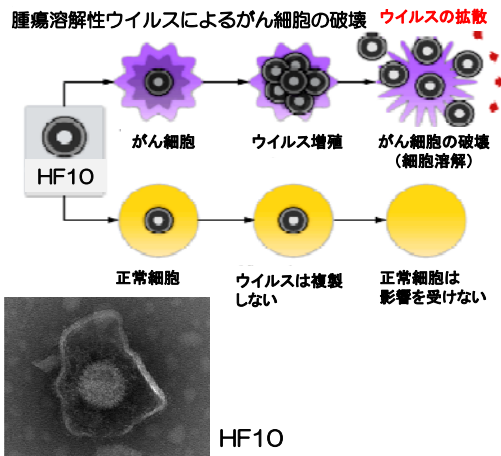


## 遺伝子医療事業の施策（4）HF10プロジェクト

**腫瘍溶解性ウイルスHF10** 目標：平成30年度の商業化

- ピッツバーグ大学、オレゴン健康科学大学、ネブラスカ大学、メアリークローリー治験センターで第Ⅰ相臨床試験を実施中
  - ・11例にHF10を投与
  - ・残りの予定症例数8例
  - ・平成24年度に第Ⅰ相臨床試験終了予定

- 三重大学で臨床研究を開始

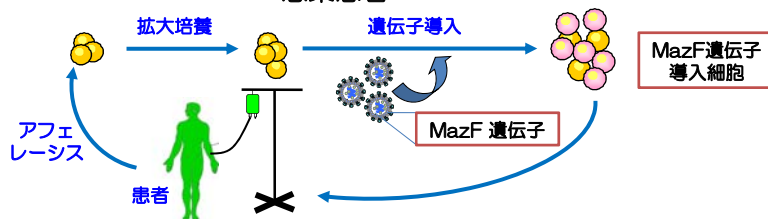


## 遺伝子医療事業の施策（5）MazFプロジェクト

### MazF遺伝子治療

目標：平成34年度の商業化

- ・平成24年3月に米国FDAにIND申請（新薬臨床試験開始届）
- ・FDAが治験開始を了承
- ・ペンシルベニア大学、ドレクセル大学と共同で、米国にてHIVを対象に第I相臨床試験を平成24年度に開始、平成27年度の終了を目指す。
- ・予定症例数：12例
  - 第1コホート（6例）：HAART療法を受けているHIV感染患者
  - 第2コホート（6例）：3か月以上HAART療法を受けていないHIV感染患者



## 遺伝子医療事業の施策（6）TCRプロジェクト

### TCR遺伝子治療

目標：治験を平成25年度に開始

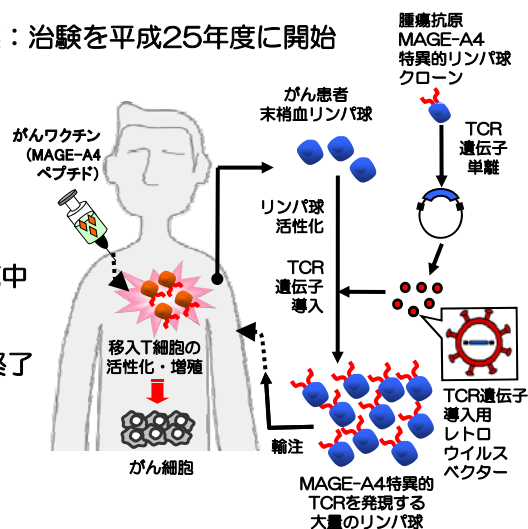
#### ①次世代ベクターを用いた治験

(siMA24(RN-T))

確認申請作業中

#### ②臨床研究 (wtMA24) を実施中

- ・実施施設：三重大学医学部
- ・6例目の遺伝子導入細胞投与終了
- ・残りの予定症例数：3例

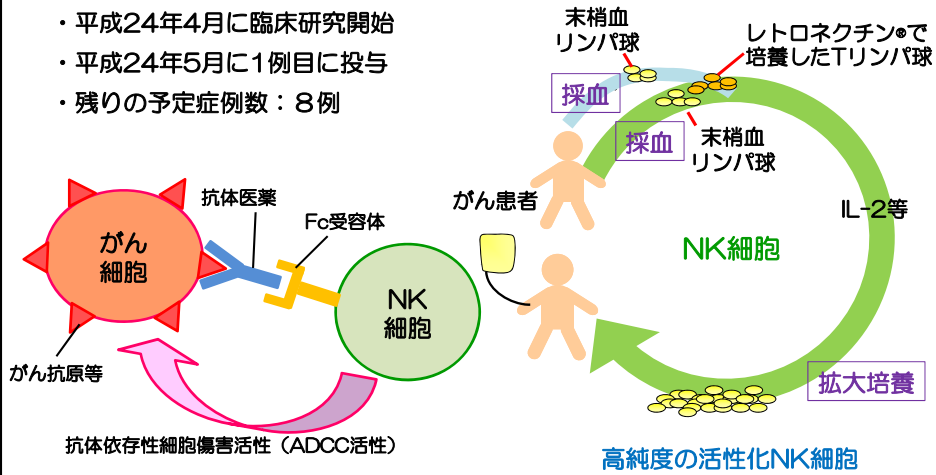


## 遺伝子医療事業の施策（7）細胞医療プロジェクト

### NK細胞療法

目標：臨床研究を平成25年度に終了

- ・平成24年4月に臨床研究開始
- ・平成24年5月に1例目に投与
- ・残りの予定症例数：8例



第10回定時株主総会

平成24年6月22日・23

TaKaRa

## 遺伝子医療事業の臨床開発スケジュール

	前臨床試験 / 臨床研究	第I相 臨床試験	第II相 臨床試験	第III相 臨床試験	商業化
HSV-TK 遺伝子治療			国内・DLI療法（平成24年度終了予定）		平成29年度
			日韓共同治験・第I / II相臨床試験（平成25年度開始予定）		
			国内・臨床研究・ハプロadd-back（平成24年度終了予定）		
HF10			米国（平成24年度終了予定）		平成30年度
MazF 遺伝子治療			米国（平成27年度終了予定）		平成34年度
TCR 遺伝子治療		国内・臨床研究・wtMA24（平成24年度終了予定）			
		国内・臨床研究・siMA24(RN-T)（平成24年度開始予定）			
		国内・第I相臨床試験・siMA24(RN-T)（平成25年度開始予定）			
CAR 遺伝子治療		国内・臨床研究（平成25年度開始予定）			

第10回定時株主総会

平成24年6月22日・24

TaKaRa